

障がい児の就学に関する請願書

平成 24 年 11 月 26 日

請願者

住 所：

団体名：インクルーシブ教育を考える会

連絡先： ※個人情報の為非表示とします。

大宰府市議会議長

大田 勝義 様

紹介議員

渡邊 美穂



障がい児の就学に関する請願

1 要旨

私達の子どもは障がいを持っておりませんが、楽しく学校生活を送ることができ、市行政のおかげだと思っております。

とりわけ、支援員の方の数も他市町より多いと伺っております。障がい児への配慮を重視して頂いていることの現れと感じ心強く思っており、大変感謝しております。しかしながら、子どもたちを就学させるにあたり、以下の内容について保護者が大変不安に思っております。太宰府市の障がい児施策をさらに充実して頂くために、貴議会で障がい児の就学に関する要望書を、市長に提出して頂くことを請願致します。

2 理由

(1) 障がい児とその家族は、先生方や支援員さんのサポートなしでは、地域での幸せな学校生活を送ることができません。しかしながら、現在支援員さんの休憩時間と言う事で、昼休みの支援体制が難しい学校もあり、障害児の家族が昼休みに学校へ行き、子どもを見守らなければならないという現状があります。毎日の事であり、家族の負担も大きいですし、家族が傍にすることで、子ども同士の関わりを妨げる要因にならないかと心配です。昼休みについての支援体制をもう一度見直していただけないでしょうか。

また、支援員さんの中には、障がい児とずっと一緒にいる事が支援だと考え熱心に見守って下さっている方もいらっしゃるようですが、それがかえって子ども同士の交流の妨げとなっている場合があります。支援員さんに基礎的な子どもへの対応の仕方や心構え等の研修を受けて頂けたら、障がい児がさらによりよい学校生活を送れると思います。

(2) 就学前検診の発達検査の実施についてですが、今年から療育相談室にて行うようになっていますが、障がいのある子は敏感な子も多く、検査を行う環境によって大きく結果が違ふことがあります。この検査に関して信頼できる療育機関で検査を行っていたにも関わらず、大学病院で受けたものに限ると言う事で、再度市の発達検査を受けるよう指導される場合があります。保護者としては子どもが生まれた時からかかっている医療機関を一番信用しており、大学病院に限定される根拠がよく分かりません。子どもの就学を決定する重大な参考資料になるので、家族が納得のいく検査結果で就学判定をして頂きたいと願います。

要望書（案）

1. 支援員さんに関する要望

- (1) 障がい児に対する昼休みの支援体制についての見直し
- (2) 支援員さんに対する研修の充実

2. 就学前の発達検査に関する要望

保護者の意向を十分反映した上で、指定医療機関の拡充と指定基準の明確化を行って欲しい。